

達成状況の凡例※括弧内は目安

○：計画を上回る（計画値の 10 割以上）△：概ね計画どおり（計画値の 8 割以上 10 割未満）

×：計画を下回る（計画値の 8 割未満）－：実績値未把握

「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略 2023-2027」施策の 2024 年度実施状況と数値目標・重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況

基本目標

1

結婚・出産・子育て環境づくり

若者の就職・職場定着支援等により、経済的安定を図るとともに、結婚・出産・子育て支援の更なる充実や、ワーク・ライフ・バランスの推進を図ることにより、若い世代が希望を持って働き、暮らし、安心して結婚・出産・子育てができる環境をつくる。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度)) *	達成状況
合計特殊出生率	1.35	1.22	1.8 (2030 年) [1.53]	×
若者（25～44 歳）の完全失業者数	36,200 人 (2018～2022 年の平均) 35,000 人（2022 年）	32,000 人	25,000 人以下	×
女性（25～44 歳）の労働力率	77.9% (2018～2022 年の平均) 79.8%（2022 年）	81.8%	78.8%以上	○

*2027 年 (度) 目標値と 2024 年 (度) 計画値が異なる場合は、2024 年 (度) 計画値を括弧で記載（以下同じ）

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況〕

（1）若者の経済的安定

①キャリア教育の推進

- 体験活動等を記録し、小学校から高校までの成長を蓄積していくキャリア教育ノートの活用促進
- 県立高等学校（全日制）でのインターンシップ等の実施（参加者：11,674 人）
- キャリア教育コーディネーターを活用したインターンシップ受入先の開拓
- 東三河地域の魅力や東三河の高校への関心を高めるために「ほの国」未来セッションの開催、キャリア教育に資する教員研修の実施
- 産業人材育成連携コーディネーターの配置及び産業人材育成情報ポータルサイト「ひと育ナビ・あいち」を活用した、モノづくり中小企業のインターンシップ受入れ促進

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県立高等学校（全日制）における インターンシップに参加した生徒 数（年間）	8,775 人	11,674 人	20,000 人 [18,000 人]	×

②若者の就労支援

- 国と連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」における就職相談から職業紹介までのワンストップ支援の実施
- 市町村と連携した若年者就職相談窓口の開設

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
ヤング・ジョブ・あいちの利用者の就職者数（年間）	2022 年度：5,383 人 (3.6% 減) 5,586 人 (2019～2021 年度平均)	2024 年度：5,516 人 (5.0% 減) 5,805 人 (2020～2022 年度平均)	毎年度過去 3 年間 平均値から 5% の増加	△
大学・短期大学卒業予定者の就職内定率	96.9%	97.3%	97%	○

③就職氷河期世代の活躍支援

- 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」の開催
- 国と連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」における就職相談から職業紹介までのワンストップ支援の実施
- 非正規雇用、無業等の状態にある就職氷河期世代の求職者に対して、求職者のニーズに合わせたコース別の研修及び紹介予定派遣制度を活用したトライアル勤務（職場実習）を実施（事業参加者における正社員就職者数：61 人）
- 生活困窮者自立支援法に基づく就労準備支援事業の実施

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
就職支援講座修了者の就職決定者数（年間）	30 人	61 人	40 人	○

（2）結婚・出産・子育て支援

①結婚サポートの実施

- 「婚活協力団体」（127 団体）、「プラチナ出会い系応援団」（35 団体）、「出会い系応援団」（94 団体）の登録企業の拡大
- 県主催の婚活イベントの開催（1 回）や民間主催の婚活イベントへの補助（13 団体）
- あいち出会い系サポートポータルサイト「あいこんナビ」の運営

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
出会い系の場を提供するイベント実施数（年間）	346 回	232 回	1,500 回	×

②妊娠・出産支援

- 女性に対する健康教室や健康相談の実施、企業や大学と連携した健康教育の実施
- 不妊専門相談や公開講座の実施、将来子どもを持つことを望むがん患者等に対する助成（93件）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
学校等と連携し思春期教育を実施している市町村の数	41 市町村	43 市町村	全市町村 [43 市町村]	○

③周産期医療体制の充実

- 分娩を取り扱う医師等への手当に対する助成（79施設）
- 総合及び地域の「周産期母子医療センター」の運営助成（18施設）、「救命救急センター」の併設促進

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
産婦人科・産科の医師数	730 人	730 人 (2022年度)	増加	—
N I C Uの整備	190 床	187 床	187 床	×

④地域における子ども・子育て支援

- はぐみんカードの普及拡大及び協賛店舗の登録拡大（登録：9,679店舗）
- 保育所や認定こども園、幼稚園等で実施される一時預かりへの助成（722か所）、市町村が実施する子育て支援拠点事業（385か所）、利用者支援事業（307か所）への補助
- 母子家庭等就業支援センターにおける就業相談、企業開拓、就業支援講習会の開催及び就職情報の提供
- ひとり親家庭等高等職業訓練促進資金貸付事業の実施（貸付：122件）
- こども家庭センターの母子保健における相談・支援体制資質向上のための研修会の開催

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
子育て家庭優待事業登録店舗数（累計）	9,785 店舗	9,679 店舗	10,000 店舗 [9,834 店舗]	×
養育支援訪問事業実施市町村数	50 市町村	50 市町村	全市町村 [50 市町村]	○

⑤子どもの貧困対策・ヤングケアラーの支援

- 生活困窮世帯・ひとり親家庭の子どもの学習支援事業の実施（45 市町）
- 愛知県社会福祉協議会（ボランティアセンター）における子どもの学習ボランティア養成と人材バンク運営事業を支援
- 「子どもが輝く未来基金」を活用した児童養護施設入所児童等の自立支援、児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業等の実施
- 子ども食堂の設置拡大と資質向上を図るための支援事業の実施
- ヤングケアラー支援関係機関研修の実施、支援コーディネーターの配置、子ども向け啓発パンフレットの作成・配布、市町村モデル事業の実施
- スクールソーシャルワーカーの配置（県立高校：10 人、県立特別支援学校：拠点となる特別支援学校 2 校に 1 人配置）、市町村立小中学校への設置補助（41 市町村）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
生活困窮世帯・ひとり親家庭の子どもの学習支援事業の実施市町村数	44 市町	45 市町	全市町村	△
県内の子ども食堂の数	293 か所	518 か所	2024 年度までの方向性：箇所数拡大に向け取組を継続 [200 か所]	○

⑥保育サービスの充実

- 保育士の雇用環境改善のための保育士資格を持たない保育補助者を雇い上げる民間事業者に対する、必要な経費の補助を実施（27 市町）
- 低年齢児の年度途中入所の保育需要に対応するため配置基準を超えて保育士を配置する市町村（21 市町）や 1 歳児に対する保育士の配置を基準よりも充実する市町村に対する補助を実施（39 市町）
- 保育士の確保・資質向上のため、保育士・保育所支援センターによる就職支援、保育士修学資金の貸付（120 人）、経験ステージや専門分野に特化した専門性の高い研修（866 人）の実施
- 病院・保育所等に付設された専用スペースでの病児・病後児預かりへの助成（98 か所）、休日保育や延長保育に対する助成（延長保育：標準時間 675 か所、短時間 327 か所）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
保育所の待機児童数	53 人	57 人 (2024 年 4 月 1 日)	解消 [31 人]	×
病児保育の実施市町村数	50 市町村	50 市町村	全市町村 [51 市町村]	△

⑦放課後児童対策の充実

- 放課後児童クラブ整備及び運営費への助成拡充（整備費助成 10 か所、運営費助成 1,648 か所）
- 認定資格研修（受講者：854 人）、キャリアアップ研修（受講者：1,447 人）の実施

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
放課後児童クラブの待機児童数	465 人	670 人 (2024 年 5 月 1 日)	解消 [279 人]	×
放課後児童クラブ児童の放課後子ども教室等教育プログラムへの参加	54.3%	52.7%	全ての小学校区で 実施 [60.0%]	△

⑧子育て世帯の経済的負担の軽減

- 幼児教育・保育施設（認定こども園、幼稚園、保育所）への施設型教育・保育給付（認定こども園 271 か所、幼稚園 71 か所、保育所 658 か所）
- 家庭的保育（保育ママ）、小規模保育、事業所内保育、居宅訪問型保育への地域型保育給付（家庭的保育 23 か所、小規模保育 345 か所、事業所内保育 22 か所、居宅訪問型保育 6 か所）、認可外保育施設等への施設等利用給付の実施（51 市町村）
- 第三子以降の 3 歳未満児の保育料を無料化又は軽減する市町村に対する補助（47 市町村）
- 私立幼稚園等における第三子以降の満 3 歳児の授業料の無償化に対する補助（215 人）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
第三子以降の子どもの満 3 歳到達年度末までの保育料の無料化・軽減に対する補助	実施	実施	継続実施	○
私立幼稚園等における第三子以降の満 3 歳児の授業料等無料化に対する補助	実施	実施	継続実施	○

（3）女性の活躍促進

- 「女性の活躍促進サミット」、「女性の活躍促進会議」の開催
- 女性の活躍促進宣言の募集（累計：2,882 社）、「あいち女性輝きカンパニー」の認証（累計：1,550 社）
- 女性の活躍プロモーションリーダーと連携して、県内中小企業等における女性の活躍を促進
- 県内で活躍する女性のロールモデル、愛知の働きやすさ等、女性が輝く愛知の魅力を県内外の若い女性に向けて広く情報発信
- 女子大学生と女性活躍推進企業との交流会の開催（参加者 58 名）、女子大学生の

取材による女性活躍推進企業の紹介動画作成（2本）

- 中学・高校・大学等への性別役割分担意識にとらわれないキャリアプランに関する出前講座等を開催（中学7校、高校7校、高等専修学校1校、参加者数2,683人）
- あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の運営（相談等件数：935件）
- 女性起業支援セミナーの開催、女性起業家の成長及び事業拡大を支援するプログラムの実施
- 「愛知県看護研修センター」における看護職カムバック研修の開催（22回、受講者：138人）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
女性の活躍促進宣言企業数 (累計)	2,474社 (2022年度:348社)	2,882社 (2024年度:177社)	2,700社	○
あいち子育て女性再就職サポートセンター（ママ・ジョブ・あいち）の利用件数（年間）	954件	935件	700件	○
事業を通じて新規就業が実現した者の数（新規就業者数）（年間）	140人	332人	150人	○
テレワーク導入事例の紹介件数（年間）	10件	10件	10件	○
20代女性の東京圏への転出超過数	3,201人	3,187人	1,400人 [2,400人]	×
伴走支援を実施する女性起業家・経営者数（年間）	10人	10人	10人	○

（4）ワーク・ライフ・バランスの推進

- 年次有給休暇など休暇を取得しやすい職場環境づくりや定時退社等を呼びかける「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の実施
- 「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」の登録制度を運営し、専用ウェブサイトで登録企業の取組を紹介（新規登録：82企業）
- 男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組む中小企業等へのアドバイザーの派遣（76回）
- 男性育児休業取得促進に関する普及啓発セミナー・ワークショップの開催（3回）
- 男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給（886件）
- 企業担当者や就業者向けテレワーク関連セミナーの開催（8回）
- テレワークに関する相談、機械操作体験、情報提供等をワンストップで実施するサポートセンターの設置（相談件数2,029件）
- 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」により、年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等をゴールド・シルバー・ブロンズの3区分で認定（ゴールド9社、シルバー90社、ブロンズ471社）

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
ファミリー・フレンドリー企業の新規登録企業数	71 社	82 社	130 社	×
年次有給休暇取得日数 (年間)	12.3 日	12.3 日	13 日	△
労働時間の短縮に向けた取組を実施している企業の割合	58.5%	63.4%	69.0%	△
働き方改革に関するセミナー・ワークショップの参加者数	623 人	1,157 人 (2024 年 : 546 人)	1,850 人 [710 人]	○
テレワーク導入に関するアドバイザー派遣件数	136 回	127 回	120 回	○
事業を通じてデジタル技術を仕事に活用している者の数 (デジタル活用者数)	—	233 人	130 人 [100 人]	○

成長分野などの企業誘致や、大学の魅力づくりの取組により、チャレンジ精神を持った若者を引きつける魅力の向上を図るとともに、U I Jターン希望者や留学生と県内企業とのマッチング支援、女子大学生等への女性活躍企業の魅力発信などにより、地元人材の定着や東京圏等からの人口流入・定着を促す。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県外との転出入者数	13,572 人 (2003～2022 年の平均)	32,435 人 (2024 年 : 18,986 人)	5 年間で 70,000 人 の転入超 [28,000 人]	○
労働力人口の全国シェア	6.1% (2018～2022 年の平均) 6.2% (2022 年)	6.2%	6.2%	○

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況〕

(1) 企業誘致

①産業立地の支援

- 「産業空洞化対策減税基金」を原資とした企業立地等への支援（研究開発・実証実験 61 件、21 世紀高度先端産業立地補助金採択 4 件、新あいち創造産業立地補助金採択（A・B タイプ）32 件、新あいち創造産業立地補助金採択（C タイプ）1 件）
- 「産業空洞化対策減税基金」を原資とした、ソフト系 IT 企業の県内進出の支援
- 次世代成長産業分野をターゲットとした戦略的企業誘致活動（指定された区域内で航空宇宙関連企業等の土地・家屋を取得する際の不動産取得税の減免）
- 企業訪問の実施、産業立地サポートステーションによる企業ニーズに適応した立地関連情報の提供

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
次世代成長産業等の企業立地件数	39 件 (2022 年度 : 22 件)	69 件 (2024 年度 : 25 件)	5 年間で 75 件 [15 件]	○

②外国・外資系企業の誘致

- GNI（グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ）協議会による外資系企業拠点立ち上げ支援、ビジネスマッチング等の実施
- ジェトロとの「包括的業務協力に関する覚書」に基づき、愛知県への進出に関心を持つ外国企業への支援を推進
- 愛知県・名古屋市等で構成する「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」において

外国・外資系企業向けオンラインセミナー及び県内企業向けオンラインセミナーを開催、外国企業等と県市企業とのマッチングプログラムの実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
外国・外資系企業の誘致件数	13 件 (2022 年度 : 7 件)	14 件 (2024 年度 : 8 件)	5 年間で 40 件 [16 件]	△
当事業を通じて愛知県・名古屋市へ進出した外国企業等の進出件数	—	0 社	2025 年度までに 12 社 [8 社]	×
当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等の数	—	12 社 (2024 年度 : 6 件)	2025 年度までに 18 社 [12 社]	○
セミナー及び商談会への参加者数	—	523 人 (2024 年度 : 425 人)	2025 年度までに 360 人 [240 人]	○
外国企業誘致ウェブページ (県・市) の総閲覧数	—	8,049 件 (2024 年度 : 4,274 件)	2025 年度までに 10,800 件 [7,200 件]	○

(2) 大学等の活性化

①県内大学の魅力づくり

- 大学対抗ハッカソンの開催 (2024 年 9 月 10 日～9 月 24 日 参加者数 : 14 大学、14 チーム、61 名)
- 県内大学の魅力を発信するため、大学生の協力により広報動画を制作・発信 (8 本の動画で計 9 大学を紹介 参加者数 : 6 大学 11 名)

②大学等の資源を生かした地域連携の促進

- 愛知学長懇話会において、県内大学学長・総長との意見交換を実施。また、大学の地域連携担当部署との意見交換会を開催
- 県立大学サテライトキャンパス等における公開講座等の実施 (34 回、参加者 : 延べ 5,345 人)
- 芸大サテライトギャラリー等での展覧会・演奏会の開催 (11 回、入場者 : 延べ 1,828 人)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県が主導する大学等との共同研究件数及びあいち産業科学技術総合センターにおける共同研究数	89 件 (2022 年度 : 46 件)	17 件 (2024 年度 : 9 件)	5 年間で 50 件 [20 件]	△

③大学等と連携した県内企業への就職支援

- 大学生等向け合同企業説明会の開催 (2 回、参加者 : 150 社、252 人)

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県内企業と県内学生とのマッチング数（年間）	2,019 人	1,816 人	4,000 人	×

（3）移住・定住の促進

①交流人口や関係人口の拡大による移住促進

- 若年層向け民間情報サイトへ愛知の「住みやすさ」をPRする広告記事を掲載、東京圏での魅力発信
- 「三河の山里サポートデスク」の運営、「愛知県交流居住センター」と連携した住宅・農地等の情報提供や受入集落支援、山里の起業実践者の育成・活用
- あいちの離島（佐久島・日間賀島・篠島）の暮らしや魅力の情報発信、SDGs AICHI EXPO 等への出展
- 「あいちの離島ワーケーション等推進事業」の実施
- 地域内外の関係人口の創出と移住・定住を促進する取組など、東三河「新しい人の流れによる新たな魅力と価値」創造事業の実施
- 東三河移住ポータルサイトの強化、大都市の企業・個人と東三河地域とのマッチングの促進、「ふるさと回帰フェア」への出展

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
ふるさと回帰支援センターにおける相談件数	281 件	349 件	年間 500 件 [369 件]	△
起業家支援セミナー参加者数（年間）	49 人	8 人	60 人	×
離島地域（日間賀島、篠島、佐久島）の関係人口数（累計）	3,021 人	3,733 人 (2024 年度 : 342 人)	4,200 人 [3,300 人]	○
取組を通じた山間地域関係人口 SNS のフォロワー増加数（年間）	208 人	252 人	150 人	○

②U I J ターン希望者と県内企業のマッチング支援

- 東京と名古屋に「あいちU I J ターン支援センター」を設置し、県外からのU I J ターン希望者に対し、県内への就職、移住を促進
- 首都圏の求職者向けに県内企業の求人情報を提供するマッチングサイトを運営
- 首都圏から県内へ移住し、就業した個人等へ移住支援金を支給する市町村へ補助
- 「愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点」による、県内中小企業が抱える経営課題等を解決するプロフェッショナル人材のニーズ発掘とマッチング支援
- 大都市圏等の大学生を対象に、東三河地域の企業や暮らしの魅力を紹介する「東三河の魅力企業スタディープログラム」の実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
移住支援事業による移住就業者数 (年間)	15 人	41 人	40 人 [25 人]	○
移住支援事業による移住起業者数 (年間)	1 人	1 人	3 人	×
UIJ ターン希望者に向けたマッチングサイトに新たに掲載された求人件数 (累計)	614 件 (2022 年度 : 217 件)	1,006 件 (2024 年度 : 82 件)	900 件 [765 件]	○
移住支援事業による 18 歳未満の世帯員を帶同して移住した世帯数 (年間)	—	21 世帯	41 世帯	×
プロフェッショナル人材戦略拠点事業の成約件数 (年間)	61 件	82 件	60 件 [45 件]	○
プロフェッショナル人材戦略拠点事業の相談件数 (年間)	335 件	405 件	350 件	○

(4) 留学生の受け入れ拡大

- 海外の優秀な人材の県内大学院への受入・学費等奨学金の支給 (新規 5 人受入)
- 留学生インターナーシップの実施 (参加留学生 : 167 人 (うち、マッチング成立留学生、148 人)、参加企業数 : 88 社 (うちマッチング成立企業 60 社))
- 企業との交流会等の開催 (参加者 : 80 人、30 社)、留学生向け企業見学ツアーの開催 (2 回、参加者 : 延べ 26 人)
- ジョブフェアを含めた留学生向けイベントの開催 (参加留学生 : 464 人、出展企業 : 77 社)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数 (年間)	1,575 人	約 1,900 人 (2023 年推計値)	1,600 人 [1,585 人]	—

(5) 人の流れを支える社会基盤の整備・機能強化

- 名古屋市が行う「名古屋駅のわかりやすい乗換空間」の形成等に関する検討調査に対する支援等、名古屋駅周辺まちづくり構想に基づく取組の促進
- 名鉄三河線の複線化等による豊田市方面への速達化に向けた関係者との協議・調整
- 鉄道高架事業 (名鉄名古屋本線知立駅周辺の立体交差化) の推進
- 中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化の早期実現に向けた国等への働きかけ
- 県営名古屋空港協議会において、コミューター航空に対する就航路線支援事業や広報活動及び国への要望活動を実施
- 名古屋港金城ふ頭の保管用地の整備着手、N C B コンテナターミナル R 2 岸壁の整備
- 三河港及び衣浦港に係る港湾施設の整備

○ 広域道路網（新名神高速道路、三遠南信自動車道、東海環状自動車道）の促進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定期 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
中部国際空港旅客数（年間）	602万人 国際線：83万人 国内線：519万人	1,104万人 国際線：491万人 国内線：612万人	1,260万人 国際線 580万人 国内線 680万人 (2025年度)	△

産業構造、人々の働き方、ライフスタイルが大きな変革期を迎える中で、時代の流れを力に変え、本県最大の強みであるモノづくり産業を始め、農林水産業を含めたあらゆる産業において、「産業首都あいち」として、競争力を高めるとともに、イノベーションによる新たな「しごと」の創出や、次代を担う人材の育成・確保を更に進めていく。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県内総生産の全国シェア	7.5% (2016～2020 年度の平均) 7.4% (2020 年度)	7.6% (2022 年度)	7.6%	—
製造品出荷額等の全国シェア	14.6% (2012～2021 年の平均) 14.5% (2021 年)	14.5% (2022 年)	15%程度	—
輸出額の全国シェア	19.6% (2018～2022 年の平均) 18.3% (2022 年)	20.0%	21.0%	△
農林水産業の産出額	3,437 億円 (2017～2021 年度の平均)	3,636 億円 (2023 年)	3,500 億円	—
就業者数	414 万人 (2018～2022 年の平均) 418 万人 (2022 年)	422 万人	年 390 万人程度を維持	○
1 人当たり県民所得	国を 19.3% 上回る (2016～2020 年度の平均) 国を 15.2% 上回る (2020 年度)	国を 16.6% 上回る (2022 年度)	国を 25% 上回る	—

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況〕

（1）次世代産業の振興

①自動車産業の育成・振興

- 旅客・貨物運送事業者や中小企業等の次世代自動車導入経費を補助（2024 年度：783 台）
- 電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）・燃料電池自動車（FCV）に対する自動車税の課税免除（2024 年度：35,140 台）
- 愛知県水素ステーション整備・配置計画の推進（2024 年度整備基数：34 か所）
- 水素ステーションを整備・運営する事業者に対する補助を実施（整備費補助 1 件、需要創出活動費補助 36 件）
- 交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指し、県内 2 市において実証実験を実施するほか、名古屋市内において自動運転車両による定期運航を開始

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
EV・PHV・FCV新車販売割合	2.8%	3.5% (2023 年)	30% (2030 年度)	—
県内の自動車サプライヤーの新規事業プロジェクト立案件数 (累計)	5 件	16 件 (2024 年度: 8 件)	25 件 [8 件]	○
水素ステーションの整備数 (累計)	大型 0 基 商用 FCV 対応 1 基	大型 0 基 商用 FCV 対応 24 基	大型 2 基 商用 FCV 対応 21 基 (2027 年度末) [大型 0 基 商用 FCV 対応 21 基]	○
自動運転実証実験件数	24 件 (2022 年度: 10 件)	50 件 (2024 年度: 23 件)	5 年間で 40 件 [16 件]	○
「自動運転」の分野での社会実装件数 (累計)	1 件	2 件 (2024 年度: 0 件)	3 件 [0 件]	○

②航空宇宙産業の育成・振興

- 國際戦略総合特区に基づく規制の特例措置、税制・金融上の支援措置の活用
- 2024 國際航空宇宙展、エアロマート・ツールーズ 2024 における出展支援 (支援企業: 23 社)
- 海外販路開拓勉強会、航空宇宙産業機製造人材育成講座、学生向け設計演習講座、高校生向けインターンシップの開催等 (受講者: 2,341 人日)
- あいち航空ミュージアムにおける次代の航空機産業を担う人材育成推進のためのコンテンツやイベントの企画・実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
海外企業と県内企業との商談件数 (年間)	135 件	197 件	100 件	○
連携海外自治体・団体数 (年間)	3 団体	5 団体	5 団体	○
航空宇宙産業における品質認証取得件数 (累計)	166 件	277 件	180 件 [172 件]	○
航空宇宙産業の人材育成研修受講者数	2,586 人日	2,341 人日	年間 500 人日	○
専門家によるハンズオン支援件数 (累計)	0 件	5 件	15 件 [6 件]	△
あいち航空ミュージアム来場者数 (年間)	約 17 万人	約 16 万人	20 万人	△
中部地域の航空宇宙産業の生産高	6,146 億円	8,659 億円	1 兆 818 億円 [1.08 兆円]	△

③ロボット産業の育成・振興

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核とした新たな技術・製品開発、販路開拓の支援
- 「あいちサービスロボット実用化支援センター」の運営
- 介護・リハビリ支援ロボットの活用促進
- 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
ロボット製造業の製造品出荷額等	1,954 億円 (2021 年)	1,407 億円 (2023 年)	3,087 億円	—
サービスロボット実用化支援・相談対応件数 (年間)	94 件	123 件	150 件	△
「介護・リハビリ支援ロボット」 「サービスロボット」の各分野での導入件数	15 件	8 件 (2024 年度 : 3 件)	16 件 〔累計 : 8 件 2024 年度 : 4 件〕	△
競技参加校のロボット S1er 企業への就職人数 (年間)	31 人	42 人	14 人	○

④健康長寿産業の育成

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」における医療機器、福祉用具等の開発、実用化及び普及の促進
- 「メディカル・デバイス産業振興協議会（事務局：名古屋商工会議所）」への参画
- 医療機器の展示商談会「メディカルメッセ」の開催（出展企業 112 社・団体、2919 名来場）

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等との相談・マッチング件数 (年間)	96 件	58 件	40 件	○
STATION Ai へのヘルスケア関連企業・団体の入居数	—	87 企業・団体	2028 年度までに 65 企業・団体 〔35 企業・団体〕	○
社会実装されたヘルスケアサービスの件数	—	2 件	2028 年度までに 24 件 〔2 件〕	○
フレイルの早期発見につながった件数	—	75 件	2028 年度までに 1,426 件 〔10 件〕	○

⑤環境・新エネルギー産業の育成

- 「知の拠点あいち」における「実証研究エリア」の運営
- 「あいち産業科学技術総合センター」に開設した「燃料電池トライアルコア」において、試作品の特性評価や技術相談、情報提供など総合的な支援を実施
- 燃料電池フォークリフト導入支援（フォークリフト導入補助 65 台（累計））
- あいち資源循環推進センターによる総合的な支援、先導的な循環ビジネスに係るセミナー・見学会の開催（セミナー 2 回、見学会 1 回）

（2）イノベーションの促進

①スタートアップ・エコシステムの形成

- スタートアップ支援拠点「STATION Ai」運営開始（2024 年 10 月）
- 県内スタートアップ創出のための起業支援金支給（18 件）
- 首都圏等スタートアップと愛知県企業の連携促進（商談数：17）
- テキサス大学オースティン校始め、海外の大学・スタートアップ支援機関との連携
- 「創業プラザあいち」における創業準備スペースの貸出、創業コーディネーターの配置などにより創業準備を支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定期 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
起業支援事業を通じた起業者数 (年間)	21 件	18 件	20 件	△
ベンチャーキャピタルや金融機関等による投資・融資、事業会社との取引・提携開始件数	13 件	5 件	30 件 [5 件]	○
超短期型アントレプレナー創出プログラムの参加者数	31 人	—	90 人	—
拠点施設における支援対象のスタートアップ数	(2024 年 10 月開始予定)	500 者	300 者 [100 者]	○
スタートアップの起業数	(2024 年 10 月開始予定)	38 社	60 社 [20 社]	○
100 億円以上の売上規模のスタートアップ創出	(2024 年 10 月開始予定)	0 社	3 社 [1 社]	×
スタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションによる事業共創件数（累計）	22 件	17 件	10 件 [5 件]	○
支援したスタートアップの資金調達額（投資、融資、補助金、契約額等）	—	0 億円	3 億円 [1 億円]	×
大学生、社会人向けスタートアップ創出プログラムにより起業につながった件数	—	16 件	125 件 [45 件]	×

人材プールへの登録件数	—	119 件	150 件 [100 件]	○
-------------	---	-------	------------------	---

②A I・I o T・ビッグデータの活用促進

- 「愛知県 I o T 推進ラボ」において、県内中小企業への I o T 導入支援（10 件）、AI 技術、データ利活用をテーマとしたワーキンググループ活動の実施（10 社）、相談窓口の設置（相談件数：133 件）、経営層向けデジタル人材育成研修の実施（計 95 名参加）、情報セキュリティ診断の実施（診断件数 10 件）
- 5 G アンテナ基地局新設に係る通信事業者からのワンストップ窓口の運用
- オープンデータカタログサイトの公開データの拡大

重要業績評価指標 (K P I)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
デジタル技術の導入を行った企業数（累計）	15 企業	39 企業 (2024 年度：10 企業)	15 企業 [10 企業]	○
スーパーシティ構想におけるビジネスモデルの作成数	4 件	15 件 (2024 年度：4 件)	11 件 [8 件]	○
「デジタル人材育成支援事業」における研修の受講者数（累計）	1, 480 人	7, 617 人 (2024 年度：1, 554 人)	6, 800 人 [4, 080 人]	○
デジタル人材育成研修会の参加人数（累計）	119 人	766 人 (2024 年度：560 人)	800 人 [480 人]	○

③研究開発機能の強化

- 重点研究プロジェクトIV期の実施（プロジェクト Core Industry、プロジェクト D X、プロジェクト S D G s）（参画機関：16 大学、7 研究開発機関等、88 企業）
- 「あいち産業科学技術総合センター」での依頼試験や技術相談・指導、試作・評価による企業の製品開発支援、共同研究の実施、研究成果の情報発信
- 「知の拠点あいち」における「あいちシンクロトロン光センター」の運営・機能強化支援
- 若手研究者の研究を奨励（第 19 回わかしやち奨励賞で 12 名の研究者を表彰）

重要業績評価指標 (K P I)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
あいちシンクロトロン光センターの利用件数	5, 778 件 (2022 年度： 1, 989 件)	13, 652 時間 (2024 年度： 6, 188 時間) ※集計単位変更	5 年間で 8, 500 件 ※34, 000 時間 [13, 600 時間]	○

④官民連携によるイノベーションの創出促進

- 「革新事業創造提案プラットフォーム（A-I D E A（アイディア）」の運営
- 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の推進

- あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」の推進
- 「あいちスポーツイノベーションプロジェクト」の推進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
新規雇用者数	—	3,879 千人	3,926 千人 [3,848 千人]	○
航空機・ロボット製造業従業者数	—	6,612 人	2028 年度までに 8,504 人 [7,394 人]	△
物流ドローンの導入機体数	—	0 台	2028 年度までに 16 台 [0 台]	△
空飛ぶクルマの運行便数	—	0 便／週	2028 年度までに 270 便／週 [0 台]	△

(3) 中小・小規模企業の振興

①販路開拓など新事業展開等への支援

- 経営革新計画の申請窓口を商工会・商工会議所等に広げ、中小企業の新たな取組を支援（承認件数：171 件）
- （公財）あいち産業振興機構によるワンストップ支援、愛知県よろず支援拠点の運営、豊橋サテライトの運営（セミナー101 回、相談会 201 回開催（うち豊橋サテライト：セミナー25 回、相談会 137 回））
- 「あいち中小企業応援ファンド」による新事業展開に対する助成（一般枠：21 件、地場産業・農商工連携枠：28 件採択）

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
中小企業の製造品出荷額等シェア	8.54% (2021 年)	8.31% (2022 年実績)	10%	—
経営革新計画の承認件数	1,733 件 (2022 年度：391 件)	538 件 (2024 年度：171 件)	5 年間で 1,500 件 [300 件]	○
ワンストップ支援窓口の利用件数	23,988 件 (2022 年度：8,478 件)	19,854 件 (2024 年度 11,188 件)	5 年間で 35,000 件 [7,000 件]	○
知財ビジネスマッチングによるマッチング件数	13 件 (2022 年度：8 件)	2 件 (2024 年度：1 件)	5 年間で 10 件 [4 件]	×
SBT 認定基準に合致した削減目標を設定した企業数	0 企業	10 企業 (2024 年度：5 企業)	15 企業 [10 企業]	○
自動車産業の新事業展開に係る商談件数	—	34 件 (2024 年度：21 件)	2025 年度末までに 30 件 [10 件]	○

②事業承継の支援

- 名古屋商工会議所を中心に設立した「愛知県事業承継・引継ぎ支援センター」において、事業承継・引継ぎのワンストップ支援を実施
- (公財) あいち産業振興機構等と連携した後継者育成塾を開催 (参加者: 170 人)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
事業承継に係る認定件数	382 件 (2022 年度: 96 件)	187 件 (2024 年度: 84 件)	5 年間で 500 件 [100 件]	△

③海外展開の支援

- 「あいち国際ビジネス支援センター」における利用件数 (1,283 件)、貿易実務講座や海外展開・国際ビジネスに関するセミナーの開催 (159 回)
- (公財) あいち産業振興機構による金融、法務、海外販路拡大支援
- (独) 日本貿易振興機構 (ジェトロ) との覚書に基づく連携事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
あいち国際ビジネス支援センターの利用件数 (年間)	1,273 件	1,283 件	940 件	○
海外拠点における相談件数 (年間)	582 件	760 件	500 件	○

(4) サービス産業の支援

- 商工会・商工会議所等に設置した申請窓口を通じ、経営革新計画の策定促進を図り、中小企業の新たな取組を支援
- 先進的なサービスを提供する中小企業の選考・表彰、サービス産業の生産性向上に資する研修やセミナーの情報を発信するポータルサイトの運営

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
サービス産業の経営革新計画の承認件数	677 件 (2022 年度: 156 件)	214 件 (2024 年度: 79 件)	5 年間で 600 件 [120 件]	○
サービス産業ポータルサイトへのアクセス件数 (年間)	20,806 件	16,372 件	20,000 件 [11,000 件]	○
キッチンカーコミュニティに登録した事業者数	—	201 事業者 (2024 年度: 63 事業者)	2025 年度末までに 50 企業 [20 事業者]	○

(5) 観光関連産業の活性化

- 観光動態データ分析ツールの活用団体数 (35 団体)

(6) 海外とのパートナーシップの構築

- 愛知県高校生訪問団のバンコク都及びテキサス州への派遣（バンコク都：10人、テキサス州：5人）
- ベトナム・ハノイ、中国・江蘇省、インド・ニューデリー、インドネシア・ジャカルタに設置するサポートデスクにおける本県からの進出企業に対する支援

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
交流事業の実施件数	51件 (2022年度：23件)	48件 (2024年度：26件)	5年間で80件 〔32件〕	○

(7) 産業人材の育成・確保

①モノづくりなど産業を支える人材の育成・確保

- 「愛知県産業人材育成支援センター」を拠点に、産・学・行政が連携して中小企業の人材育成を支援
- 「産業人材育成連携コーディネーター」による、職業訓練・研修を始め職業能力開発関連の情報提供・相談対応（コーディネーター：2人、情報提供・相談対応：249件）
- 企業O B等の熟練技能者のデータベース「あいち技能伝承バンク」を設置し、「あいち技の伝承士」として中小企業等へ派遣（派遣：23団体、87人日）
- 教育機関と連携しモノづくり中小企業のインターンシップ受入れを促進
- 2024年度技能五輪全国大会・全国アビリンピック開催（愛知県、国等主催）
- 小中学生を対象にロボット製作とプログラミングによる制御を競う競技大会の開催（小学生87人、中学生56人）
- 2024年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックに向けた大会PR事業、見学支援事業等の実施

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
技能検定合格者数（年間）	6,840人	6,563人	8,500人	×
普通課程の普通職業訓練修了者の就職率（年間）	96.6%	97.4%	95%	○
認定職業訓練生数（年間）	16,278人	17,070人	25,000人	×
採用支援セミナーへの参加企業数（年間）	—	58社	50社	○
高校新規学卒者の建設業への就職者数	550人	408人	5年間で3,020人 〔663人〕	×

②科学技術系人材の育成・確保

- 愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える名古屋市科学館内の「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を名古屋市と運営

- 県立高等学校におけるS T E A Mに重点を置いた教育の推進
- 小中学生を対象としたS T E A M教育講座の開催

③グローバル人材の育成・確保

- あいちリーディングスクール事業における推進校での英語を高いレベルで使いこなす人材の育成及び取組成果の普及（推進校：20校）
- 愛知県立大学における「グローバル人材プログラム」の実施、外国語学部以外の学生の海外留学促進、留学生の受入拡大や支援の充実、多言語学習センター（iCoToBa）において多言語学習支援の実施
- 留学生に対するインターンシップの実施や企業見学ツアーの開催、ジョブフェアを含めた留学生向けイベントなどによる就職支援

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数（年間） 【再掲】	1,575人	約1,900人 (2023年推計値)	1,600人	—
県内大学等を卒業した留学生の国内就職率	36.5%	42.7%	39.9% [37.9%]	○
リーディングスクールを中心とした地区別授業研修（年間）	2回	2回	2回	○

（8）外国人材の適正な受入れ

- 外国人早期適応推進事業で作成した研修カリキュラム等の普及啓発
- 外国人向け生活設計支援冊子を活用した情報提供
- 「あいち多文化共生センター」の運営、「あいち医療通訳システム」の運営、災害時の多言語支援センターの運営

（9）農林水産業の振興

①農林水産業の市場拡大

- 愛知県6次産業化サポートセンターにおける農林漁業者等の個別相談や人材育成研修会の実施（個別相談：139件、人材育成研修会：14回310人参加）
- 首都圏等における知事トップセールスの実施（1回）、商談会等に出展する事業者への支援等により、B to Bの需要拡大と県産農林水産物の知名度向上を図る取組実施
- ブランド米「愛ひとつぶ」の生産安定と知名度向上に向けた取組
- 海外での県産農林水産物の販促フェア出展（3产地）
- あいち花マルシェ2024の開催（名古屋市（10月）、安城市（11月）来場者数：51,336人）
- 県内の全ての公立小中学校等における「愛知を食べる学校給食の日」の実施（年3回）

- 「あいち木づかい表彰」の実施、関係者と連携した「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用したPR効果の高い建築物等への支援

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
6次産業化事業体数の割合	5.5%	6.8%	6.0% [5.0%]	○
「愛ひとつぶ」の県民認知度	25.0%	36.0% (2023年度)	70.0%	—
農林水産物等を購入する際に愛知県産を優先して購入する割合	13.3%	18.6% (2023年度)	25.1%	—
オンライン商談での商談成約率	11.8%	0.8%	18.0% [4.0%]	×
あいちの伝統野菜生産者数	613人	671人	705人 [644人]	○
事業で実施した講習会の参加者数	0人	659人	700人 [280人]	○
伝統野菜をPRする県WebページのPV数	0件	6,500件	1,000件 [500件]	○

②農林水産業におけるAI・IoT等の次世代技術の導入

- ICTやAI等を活用した農業生産技術の開発、スマート農業技術の実証推進
- ICTを活用した環境制御が可能な「あいち型植物工場」の導入支援、
- スマート林業の推進、ICTやドローンを活用した水田の生育診断プログラムの開発と実証
- 農業総合試験場と大学・スタートアップ等による共同研究開発による農業イノベーション創出を推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
イチゴの有望系統の年間粗収益	4,455千円/10a	9,394千円/10a	2024年度までに 8,000千円/10a	○
イチゴ・イチジクの有望系統の導入農家数	3戸	12戸 (2024年度:1戸)	2024年度までに 10戸	○
イチゴ・イチジク一次選抜に供試する系統数	4,962系統	9,764株 (2024年度:2,241株)	2024年度までに 5年間で10,400系統	△
遺伝子解析技術を活用した品種開発数（品種登録申請件数）	0件	2件 (2024年度:1件)	2024年度までに 5年間で3件	×
民間事業者等との遺伝子解析等に係る共同研究課題数（累計）	12課題	17課題 (2024年度:0課題)	2024年度までに 11課題	○
ICT温室研修会参加者数	365人 (2022年度:105人)	581人 (2024年度:111人)	5年間で400人 [400人]	○

データを活用した農業技術の習得者数	341 人 (2022 年度 : 97 人)	542 人 (2024 年度 : 104 人)	5 年間で 400 人 [400 人]	○
愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究実施件数 (累計)	23 件	28 件	26 件 [14 件]	○
新技術を活用したビジネスモデルの創出件数 (累計)	0 件	6 件	18 件 [6 件]	○
イチゴの産出額	2023 年度から 施設運用予定	112 億円	2026 年度までに 106 億円 [98 億円]	○
本県開発品種のイチゴ苗生産数 (生産者による栽培用苗)	2023 年度から 施設運用予定	214 万本	2026 年度までに 224 万本 [197 万本]	○
フキの販売単価	2023 年度から 施設運用予定	—	2026 年度までに 321 円/kg	—
本県産いちごの市場取扱高	7,348 百万円	—	2027 年度までに 7,420 百万円	—
本県開発新品種「愛経 4 号」の 共販出荷量	0 t	774t	2027 年度までに 1,003t [792t]	△
余剰苗生産数の削減	2,240 株	1,330 株 (2024 年度 : 910 株減)	2027 年度までに 1,000 株削減 [1990 株 : 250 株 減]	○
愛知県における農林水産出荷額 (農業)	—	3,114 億円	3,168 億円 [3,000 億円]	○
スマート農業技術の普及割合	—	39.1%	50%	×
有機農業取組面積	—	406ha	446ha [376ha]	○
雑草抑制技術の開発	—	0 件	4 件 [0 件]	○
米・小麦の出荷額 (合計)	—	279 億円	263 億円 [257 億円]	○
高温耐性品種の作付面積	—	482ha	2,250ha [250ha]	○
県内生産うるち米一等米比率	—	37.4%	63.2% [58.6%]	×
世代促進温室における供試点数	—	144 点	240 点 [144 点]	○

③生産性の高い農林水産業の展開

- 水田の大区画化、農業用水のパイプライン化、農地の排水対策、農道整備の推進
- 農地中間管理機構への運営支援 (新たに担い手へ集積された面積 : 958ha)
- 地域農業の将来の在り方と目標地図を取りまとめた「地域計画」の策定支援
- 循環型林業の推進及び流通コスト削減への取組支援

- あさり漁場となる干潟・浅場及び増殖場の造成、水産種苗の生産・放流及び栽培漁業の推進、資源状況調査の実施、総合的なうなぎ資源保護の取組
- 高性能林業機械の導入支援

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
県農林水産関係試験研究機関における研究成果の件数（新技術・新品种の開発件数）（新規件数）	19 件	17 件	5年間で 93 件 [19 件]	△

④農林水産業の担い手の確保・育成

- 「農起業支援ステーション」等における、就農希望者・企業の相談対応。「農起業支援センター」は、生産技術指導も実施（相談件数：個人 1,112 件、企業等 59 件）
- 農業次世代人材投資資金による就農前の生活安定及び就農後の経営確立に対する支援、女性農業者の活躍支援
- 愛知県林業労働力確保支援センター、漁業就業者確保育成センター等と連携した就業相談、研修の実施（林業：就業相談 5 回、研修 70 日間、470 人参加、漁業：就業相談）
- 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域共同活動への支援

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
新規就農者、新規林業就業者、及び新規漁業就業者数の合計（年間）	243 人	259 人	260 人	△
多面的機能の維持・発揮活動を行う農地の面積（農業農村多面的機能支払事業の取組面積）（年間）	33,679ha	33,660ha	30,000ha	○
狩猟免許取得者数	—	0 人	6,332 人 [0 人]	△
鳥獣被害対策実施隊等の捕獲リーダー数	—	0 人	323 人 [0 人]	△
総合射撃場利用料金収入	—	0 千円	58,477 千円 [0 千円]	△

⑤鳥獣被害対策等の推進

- 第二種特定鳥獣管理計画の推進
- 外来種対策研修会の開催、専門家派遣による指導助言、侵略的外来種に関する調査実施
- 農林水産物への被害を防止する取組を行う市町村や地域協議会への支援、市町村被害防止計画の策定支援（計画策定市町村：37 市町村）

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
鳥獣被害対策実施隊等の捕獲 リーダー数 (累計)	320 人	329 人	329 人 [324 人]	○

「ジブリパーク」を始めとした新たな魅力の創造・発信や愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」を核とした更なる国際交流の推進、「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）・第5回アジアパラ競技大会」などのスポーツや伝統文化を生かした賑わいづくりなど、国内外から人を引きつける魅力ある地域をつくる。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
観光入込客数	9,363万人回	1億1,073万人回	1億2千万人回 (2026年)	△
観光消費額	6,998億円	1兆2,131億円	1.1兆円 (2026年)	○
愛知県を訪れる観光客の満足度（非常に満足）	33.4%	43.8%	50.0% (2026年度)	△

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

（1）地域ブランドの構築と愛知ならではの観光資源の発掘・磨き上げ

- 愛知万博の理念を継承するジブリパークの整備推進
- 産業観光施設及び武将観光施設を巡るスタンプラリーの実施（応募件数：1,750件）
- 「サムライ・ニンジャフェスティバル2024」等の武将観光イベントの開催（来場者：30,000人）、「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を通じた忍者観光の推進
- 「お城EXPO 2024」へ出展（来場者：20,754人）、「にっぽん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in 愛知」の開催（来場者：5,395人）
- 愛知県街道観光講演会の開催
- 海外旅行会社等を招請した際、なごやめしの試食を実施
- 世界コスプレサミットの開催支援（イベント動員数：253,700人）
- ジャパンフィルムコミッション（JFC）主催のロケ地フェアへの出展
- ロケ地マップ、ロケ地ガイド作成による情報発信
- 「あいち医療ツーリズム推進協議会」の運営、国際医療コーディネーター向け多言語対応のポータルサイト作成・運用
- あいち健康の森公園において、「Park-PFI制度」を活用した民間活力導入施設の事業者の選定

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
観光消費額 (年間)	6,998 億円	1兆 2,131 億円	1.1兆円 (2026 年)	○
延べ宿泊者数 (年間)	1,5817 万人泊	2,132 万人泊	2,000 万人泊 (2026 年)	○
観光消費額単価	7,472 円	10,955 円	9,170 円 (2026 年)	○
外国人患者受入れ人数	126 人	416 人 (2023 年度)	2,599 人	—
愛知県を訪れる観光客の満足度 (非常に満足)	33.4%	43.8%	50.0% (2026 年度)	△
県民の本県観光地推奨意向	17.7%	21.4%	30.0% (2026 年度)	△

(2) 旅行者の多様なニーズへの対応

- 市町村等に対する観光プログラムの造成から販売、予約管理までのハンズオン支援
- 「あいちウィーク」期間中に、本県に根差した歴史・産業・自然・文化の魅力を発見し、理解を深めることができる県民向けのガイドツアーの実施

(3) インバウンドの拡大に向けた効果的な情報発信と環境整備

- 「“Heart” of JAPAN～Technology&Tradition」を掲げた愛知県公式観光ウェブサイト及びSNS等による情報発信
- 外国人向けガイドマップ（日本語・英語・中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語）の更新、増刷
- アジア FIT・旅行会社向け観光プロモーションの実施（タイ、中国、韓国、台湾、ベトナム、インドネシア）
- 外国人旅行者からの問い合わせ対応や、観光関係事業者向けの電話通訳、多言語表記を支援するための翻訳サービスの提供を行う愛知県多言語コールセンターの設置・運営
- 海外の現地事情に精通した「海外レップ」を2か所（東南アジア、アメリカ）に設置しPRを実施
- 外航クルーズ船社等へのポートセールス

(4) MICEの誘致・開催

- 「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」による MICE 誘致の取組の推進（海外 MICE 見本市・商談会（IT&CM Asia ほか）への出展・参加、東京都との都市間連携ファムト リップの実施、愛知・名古屋 MICE 説明会の開催等）
- 「“Heart” of JAPAN～Technology&Tradition」を掲げた海外 MICE プロモーショ

ンの展開

- 開業した高級ホテル立地促進事業費補助金の認定事業者への補助金交付
- 愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」のコンセッション方式による運営の支援

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
国際会議の開催件数（年間）	25 件	69 件 (2023 年)	260 件 (2026 年)	—

（5）広域観光の推進

- 産業観光・武将観光の推進
- 東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携した訪日外国人観光客東海エリア誘客促進プロモーション（旅行博出展、旅行会社招請等）の実施

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
中部国際空港旅客数（年間）【再掲】	602 万人 国際線 83 万人 国内線 519 万人	1,104 万人 国際線 491 万人 国内線 612 万人	1,260 万人 国際線 580 万人 国内線 680 万人 (2025 年度)	△
リニモ 1 日あたり利用者数	23,323 人	27,000 人	27,700 人 [24,900 人]	○

（6）スポーツ大会を活用した地域振興

- 「あいちスポーツコミッショն」によるスポーツ大会に関する情報収集・発信、研究会等の開催
- 第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)及び第 5 回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)の運営に関する計画作成
- 「アジア競技大会・アジアパラ競技大会を活用した地域活性化ビジョン」の推進
- 第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)、第 5 回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)及びオリンピック等の国際大会で活躍できるトップアスリートの発掘・育成
- 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催(2025 年 3 月 7 日～9 日)
- 「RALLY 三河湾」(観戦客数: 85,800 人)、「FIA 世界ラリー選手権ラリージャパン」の開催支援(観戦客数: 543,800 人(リエゾン含む))などのスポーツ大会の更なる育成
- IG アリーナ(愛知県新体育館)の整備推進(本体工事、竣工)
- 「美・癒し」とアウトドアスポーツを結びつけたデジタルスタンプラリーの開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
県内スポーツ情報を発信するWeb サイトへのアクセス件数 (年間)	305,200 件	449,332 件	300,000 件	○
県内における新たな国際スポーツ 大会の開催数	2 件 (2022 年度 : 1 件)	5 件 (2024 年度 : 0 件)	2030 年度までに 10 大会 [1 件]	○
「第 20 回アジア競技大会 (2026/愛 知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競 技大会」に関連したアジア各国との 交流件数	26 件 (2022 年度 : 10 件)	31 件 (2024 年度 : 4 件)	2030 年度までに 200 件 [52 件]	×
東三河地域の観光入込客数 (年 間)	2,094 万人	2,137 万人	2,460 万人 [2,270 万人]	×
東三河地域の宿泊者数 (年間)	163 万人	190 万人	231 万人 [206 万人]	△
東三河地域の道の駅の売上額 (年 間)	44.5 億円	50.7 億円	49.3 億円 [47.1 億円]	○
新体育館のオープン時期	—	2025 年 3 月竣工	2025 年 7 月 オープン	○
東三河スポーツツーリズムウェブ ページ「Outdoor Route」アクセ ス件数	40,281 件	94,413 件	43,012 件 [40,972 件]	○

(7) 文化芸術の創造・発信

- 「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」の開催 (来場者 : 3,204 人)
- 国際芸術祭「あいち 2025」の開催準備
- 愛知芸術文化センターにおける質の高い舞台芸術公演や美術展の開催
- 「あいち山車まつり日本一協議会」の運営
- 「あいち朝日遺跡ミュージアム」の運営 (来館者数 : 66,561 人)、名古屋市 (志段
味古墳群等) と連携した魅力発信
- 愛知県陶磁美術館における魅力的な企画展等の開催 (2023. 6 ~ 休館)
- 「あいち推し芸体験会」の開催、「推しを見つける！あいち伝統芸能ナビ」の開設
(入場者数延べ 1,467 名)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
愛知芸術文化センター入場者数 (年間)	142.5 万人	149.0 万人	200 万人	×
愛知県陶磁美術館来館者数 (年間)	7.7 万人	0.8 万人	10 万人 [0.9 万人]	△

(8) 観光交流拠点機能の強化、観光人材の育成

- あいち・なごや周遊観光パスポートの販売（参画施設数：26 施設）
- 「産業観光あないびと育成研修会」の実施による観光ボランティアガイドの育成
- 教育旅行における航空機利用の促進、常滑港におけるクルーズ船誘致の実施

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
観光消費額（年間）【再掲】	6,998 億円	1 兆 2,131 億円	1.1 兆円 (2026 年)	○

「人生100年時代」と言われる中、医療・介護・福祉の充実に加えて、労働や地域活動への参加を促進することで、性別・年齢・国籍・障害の有無に関わらず、誰もが生涯にわたって活躍でき、能力を最大限に発揮できるような共生社会を実現する。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
健康寿命	男 72.85年 [全国18位] 女 76.09年 [全国12位] (2019年)	男 72.91年 [全国15位] 女 76.07年 [全国6位] (2022年)	男 72.85年 女 76.09年 を上回る [男: 73.58年 女: 76.49年]	—
労働力率	64.5% 2004年: 64.0% ⇒2014年: 62.7% ⇒2022年: 65.3%	65.8%	64.5%を上回る	○

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況〕

（1）健康長寿の推進、医療・介護・福祉の充実

①健康づくりの支援

- 保健所・市町村を対象とした歯科衛生士人材育成研修の実施（参加者:104人）
- 地域間の健康格差縮小をめざした医療圏ごとの研修等（参加者:3,460人）や広報啓発活動の実施
- 従業員の健康保持・増進を推進する「健康経営」に取り組む企業等の登録・表彰、情報発信、健康マイレージ連携アプリの配信
- 主体的な健康づくりを促進する「あいち健康づくり応援カード！～MyCa～（まいか）」（優待カード）の交付（43,008枚）
- 医療保険者等と連携し、啓発資材を活用した生活習慣病の発病防止や早期発見等の普及啓発活動を実施
- ライフステージに応じた歯科口腔保健対策の推進による8020運動の推進
- あいち健康プラザにおける、中高年への高強度インターバルトレーニング導入による健康・体力関連効果の検証と地域への展開

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
健康づくりリーダーの養成数（累計）	3,226人	3,330人 (2024年度: 53人)	2033年度までに 3,700人以上 [3,300人以上]	○
健康格差（地域や社会経済状況の違いによる健康状態の差）の把握に努める市町村の数	39市町村	46市町村	全市町村 [41市町村]	○

②地域医療の確保

- 「愛知県地域医療支援センター」による女性医師等の就労支援や若手医師の育成等の医師確保対策の実施
- 病院が実施する新人看護職員研修への支援、「愛知県看護研修センター」における看護職カムバック研修の開催、看護師の無料職業紹介等を行うナースセンター事業の実施、県立学校での看護師の養成
- 地域の開業医を軸に、在宅医療に参入する医師等を増加させるための在宅医療推進研修の実施（参加者：158人）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
在宅療養支援診療所数（累計）	836 か所	889 か所 (2024年度：29 か所)	2026年度までに 943 か所 [54 か所]	△

③地域包括ケアシステムの構築及び更なる深化・推進

- 通いの場に関するフォーラムやコンテストの開催
- 認知症に理解の深いまちづくりの実現に向けた「あいちオレンジタウン構想」の推進
- 「あいち認知症パートナー企業・大学」への登録の拡大（2024年度末登録数：118社、18校）
- 実践の場で必要となる認知症に関する知識や対応スキルの修得を目指す「認知症サポートステップアップ研修」の開催（受講者：56人）
- 認知症予防プログラムの普及の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
介護予防に資する通いの場への 参加率	4.4%	5.0% (2023年度)	8.0% (2025年度)	—
認知症サポーター養成数	585,523 人 (2023年3月末現在)	652,619 人 (2024年度：33,904人)	増加	○

④産学官連携の促進

- 「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の推進
- 認知症に理解の深いまちづくりの実現に向けた「あいちオレンジタウン構想」の推進

⑤地域共生社会の実現に向けた地域づくりの推進

- 地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業を実施する市町村に対する交付金の交付（2024年度：24市町）

⑥感染症に対する正しい知識の普及啓発

- 感染症予防指導者セミナーの開催
- 広告媒体を用いた感染症予防の普及啓発（蚊媒介感染症、季節性インフルエンザ等）

(2) 全員活躍社会づくり

①女性の活躍促進

基本目標①（3）に記載のため省略

②高齢者の就労・社会参加の促進

- 企業向けの高年齢者雇用推進セミナーの開催
- 高年齢者就職相談・面接会の開催

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
高齢者（65歳以上）の労働力率 (年平均)	26.8%	27.5%	1ポイント以上 改善 [27.2%]	○
高齢者（65歳以上）の就業者数	507,000人	520,000人	2027年までに 547,000人 [523,000人]	△

③社会人の学び直しの環境づくり

- 愛知県立大学における、企業のものづくり人材等を対象としたリカレント教育の実施（4団体・企業）
- 教育・医療・福祉等の分野で活躍する専門職業人やその他の社会人を対象とした講座・セミナー等を開講（参加者：2,120人（オンラインを含む））
- 県立芸術大学における、実技系の生涯教育講座（学び直し）の開設（13回・1,268名）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
大学等高等教育機関における公開講座の開催数（年間）	1,343講座	1,526講座	前年度を上回る [1,598講座]	△

④障害のある人の活躍支援

- 「あいち障害者雇用総合サポートデスク」をウインクあいちで運営し、国と一体となって雇用から定着までの一連の切れ目のない支援事業を実施
- 障害者を初めて雇用する中小企業に対する支援として中小企業応援障害者雇用奨励金を支給（61件）
- 知的障害者対象の訓練コースの実施（名古屋高等技術専門校、岡崎高等技術専門校（現：三河高等技術専門校））
- 愛知障害者職業能力開発校における職業訓練の実施、特別支援学校における職業教育の充実（就労アドバイザーを拠点となる特別支援学校5校に各1名配置、知的障害特別支援学校に職業コースを設置（12校）、映像コンテンツ（動画）等を用いた就労支援の実施）
- 「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」、「あいちアール・ブリュット・サテ

ライト展」、関連イベントの開催

- 愛知県障害者スポーツ大会の開催（全7競技）、障害者スポーツ体験・交流イベントの開催（参加者：808人）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
民間企業における障害者の雇用数	37,439.5人 (2022年6月)	41,529.5人 (2024年6月)	2027年までに 46,000人 [40,864人]	○
民間企業における障害者の法定雇用率達成	2.19% (2022年6月)	2.36% (2024年6月)	法定雇用率2.7%の 達成(2027年)及び維持 [2.5%]	×
障害者スポーツに関する取組への 参加者数（累計）	649人	2,348人 (2024年度：1,008人)	3,500人	×

⑤多様で魅力ある学校づくり

- フレキシブルハイスクールの設置準備、夜間中学の設置準備、VR・アバターを活用した学習活動の実施
- 「中高一貫教育具体化検討部会」の開催（2回）
- 第二次導入校ごとのワーキンググループの実施（50回）

（3）外国人が働きやすく、暮らしがやすい環境づくり

- 外国人雇用・就職に関する相談窓口の設置（相談件数：269件）、市町村等への出張相談（49回、109人）、外国人雇用企業伴走型支援の実施（7社）
- 定時制高校の外国人生徒等の正規雇用の就労先を開拓（企業訪問等）する「就労アドバイザー」の配置（県立高等学校3名）
- 介護分野への就職を希望する外国人に対する日本語教育研修、介護職員初任者研修、職場実習への支援
- 「あいち医療通訳システム」の運営、外国語対応可能な医療機関の音声FAX案内の実施、災害時の多言語支援センターの運営
- 「あいち多文化共生センター」の運営、外国人向け生活設計支援冊子を活用した情報提供
- 「多文化子育てサロン」普及説明会の実施
- 外国人県民による多文化共生日本語スピーチコンテストの開催（応募者：314人）
- 地域における初期日本語教育モデル事業の実施（豊橋市、常滑市、弥富市）
- 日本語学習支援基金を活用した外国人の子どもへの学習支援（日本語教室：37団体・54教室、外国人学校4校）
- 公立小中学校における日本語教育適応学級担当教員の配置（579人）、公立小中学校への語学相談員の配置・訪問指導（対象児童生徒：1,508人）、県立学校への支援員派遣や小型通訳機配備（高等学校：全日制、定時制合わせて28校に28台、特別支援学校：15校に28台）による学習活動や学校生活支援

(4) 総合的な防災・減災対策の推進

- 民間住宅の耐震診断、耐震改修、段階的耐震改修、耐震シェルター整備、木造住宅除却費補助の実施（住宅耐震診断：4,493 件、住宅耐震改修：570 件、住宅段階的耐震改修：36 件、木造住宅耐震シェルター整備：67 件、木造住宅除却：1,044 件）
- 不特定多数の者が利用する大規模建築物等に対する耐震改修、除却費補助の実施
- 通行障害既存耐震不適格建築物、防災上重要な建築物に対する耐震診断、耐震改修、除却費補助の実施（対象建築物等の耐震診断：1 件、対象建築物の耐震改修等：13 件）
- 河川堤防、海岸堤防、港湾・漁港の耐震化の推進、市町村が行う浸水・津波避難対策等への補助
- ゼロメートル地帯における広域的な防災拠点、愛知県基幹的広域防災拠点の整備推進
- 「あいち・なごや強靭化共創センター」における防災・減災に関する研究開発・人材育成の実施
- 防災・減災カレッジの開講による防災リーダーの育成
- 女性消防団活性化推進プログラム、学生への消防団加入促進活動の実施
- 「あいち消防団応援の店」制度の実施（累計：1,137 店）、消防団加入促進事業費補助金による助成（12 市町）
- 広告媒体を用いた感染症予防の普及啓発

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
本県被害予測調査等に基づく浸水・津波ハザードマップを作成・公表し、防災訓練を実施している市町村数	18 市町村 (2023 年 3 月 31 日現在)	19 市町村 (2025 年 3 月 31 日現在)	2027 年度までに 27 市町村	×
地域防災リーダー育成（防災・減災カレッジ地域防災コース受講者数）（年間）	85 人	101 人	90 人	○

(5) 安心して暮らせる地域社会の実現

- 自主防犯団体の設置促進、先駆的に取り組む自主防犯団体への支援、活動功労者等に対する表彰の実施
- 防犯ボランティア活動リーダーの養成
- 愛知県人権施策推進審議会の開催

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
安全なまちづくり県民運動の実施	毎季 54 市町村	毎季 54 市町村で実施	毎季全 54 市町村で実施	○
自主防犯団体の設立数	61 団体 (2022 年度：6 団体)	9 团体 (2024 年度：3 団体)	50 団体以上 [10 団体]	×
防犯ボランティア活動リーダーの養成数	506 人	1,283 人 (2024 年度：584 人)	1,500 人以上 [300 人]	○

(6) 行政とNPO等との連携・協働

- NPOと行政の協働に関する実務者会議の開催、コーディネーター実践研修の開催
- 仕事で培った経験やスキルを活かしたボランティア活動を行う「プロボノ」活動の啓発

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
NPOとの連携事業数	298 件 (2022年度: 107件)	502 件 (2024年度: 103件)	5年間で 415 件 [482件]	○
SDGsセミナーへの参加NPO 団体数 (累計)	48 団体	94 団体 (2024年度: 19団体)	60 団体	○

人口問題は県全体に関わる重要な課題と捉え、地域資源を生かした魅力の発信等により関係人口を創出・拡大し、活力ある地域づくりの促進を図る取組を行う。また、経済・社会・環境が調和した持続可能な地域の実現に向けて、SDGsの理念を踏まえた様々な取組を進める。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
1 人当たり県民所得 【再掲】	国を 19.3% 上回る (2016~2020 年度の平均) 国を 15.2% 上回る (2020 年度)	国を 16.6% 上回る (2022 年度)	全国平均を 25% 上回る	—
三河山間地域及び離島の観光客数	【三河山間地域】 660 万人 (2018 年度) 【離島】 52 万 8 千人 (2018 年度)	【三河山間地域】 658 万人 【離島】 33 万 2 千人	【三河山間地域】 660 万人 [667 万人] 【離島】 52 万 8 千人 [38 万 4 千人]	△

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況〕

(1) 東三河地域における観光・産業振興や就業促進

- 東三河スタートアップ推進協議会と共にスタートアップ機運醸成イベントを開催、東三河地域のスタートアップ・エコシステム形成を支援
- 東三河地域内外の大学生等を対象に、東三河地域の企業や暮らしの魅力を紹介する「東三河の魅力企業スタディープログラム」を実施 (全 10 回)
- 東三河移住ポータルサイトの強化、大都市の企業・個人と東三河地域とのマッチングの促進、「ふるさと回帰フェア」への出展【再掲】
- 地域内外の関係人口の創出と移住・定住を促進する取組など、東三河「新しい人の流れによる新たな魅力と価値」創造事業の実施【再掲】
- 「美・癒し」とアウトドアスポーツを結び付けたデジタルスタンプラリーの開催、アウトドアスポーツ事業者の情報発信ツールを活用した東三河地域ブランドの発信
- 競技に关心の高いサイクリストに対して高い訴求力を持つインフルエンサーを起用した情報発信及びイベントの実施
- 東三河 SDGs 先導事業の実施 [35 事業]

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
東三河地域の観光入込客数 (年間) 【再掲】	2,094 万人	2,137 万人	2,460 万人 [2,270 万人]	×
東三河地域の宿泊者数 (年間) 【再掲】	163 万人	190 万人	231 万人 [206 万人]	△
東三河地域の道の駅の売上額 (年間) 【再掲】	44.5 億円	50.7 億円	49.3 億円 [47.1 億円]	○
東三河スポーツツーリズムウェブ ページ「Outdoor Route」アクセ ス件数 【再掲】	40,281 件	94,413 件	43,012 件 [40,972 件]	○
コードィネート機能による、東三河の各 地域への訪問回数 (累計)	75 回	317 回 (2024 年度 : 113 回)	350 回 [250 回]	○

(2) 三河山間地域・三河湾の島々の振興

①暮らしの安心を支える環境の整備

- へき地医療拠点病院・診療所への助成 (13 医療機関)
- バス運行対策事業による支援 (23 系統)、過疎バス路線維持事業による支援 (運行 : 32 路線 2 地域)
- 国道 257 号、国道 420 号、国道 153 号伊勢神改良等の整備
- 「へき地・複式教育研究協議会」「へき地指導者研究協議会」の開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
代診医等派遣要請に係る充足率	98.1%	96.9%	100%	△

②小規模高齢化集落の維持・活性化

- 「愛知県交流居住センター」との連携による交流イベント、住宅・農地等の情報の提供、受入集落支援
- 「三河の山里サポートデスク」の運営 【再掲】
- 山里の起業実践者の育成・活用、支援体制の強化
- 乗合バスや市町村営バスの運行に対する補助 (運行 : 32 路線 2 地域)
- 交通事業者等が実運行で再現可能なビジネスモデルの構築を目指し、県内 2 市において実証実験を実施するほか、名古屋市内において自動運転車両による定期運行を開始 【再掲】

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
起業家支援セミナー参加者数 (累 計) 【再掲】	49 人	8 人	60 人	×

③交流居住の促進

- 「三河の山里サポートデスク」による都市住民との交流イベントの開催
- 交流居住情報の受発信や集落への支援コーディネータ派遣
- 山里の暮らしや魅力の情報発信と誘客イベントの実施
- ふるさと回帰フェア等へのブース出展
- SNSやY o u T u b eによる情報発信、オンラインセミナーの実施

④多彩な地域資源を生かした観光による地域の活性化

- 山里の暮らしや魅力の情報発信と誘客イベントの実施【再掲】
- あいちの離島及び周辺地域の情報の一体的な発信
- SDG's AICHI EXPO等への出展

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
離島地域（日間賀島、篠島、佐久島）の関係人口（累計）【再掲】	3,021人	3,733人 (2024年度:342人)	4,200人 [3,300人]	○
取組を通じた山間地域関係人口 SNSのフォロワー増加数（累計） 【再掲】	208人	252人	150人	○

⑤地域の特性を生かした農林水産業の振興

- 6次産業化推進会議等の開催、6次産業化サポートセンターにおける農林漁業者等の個別相談や人材育成研修会の実施（個別相談：139件、人材育成研修会：14回、310名）【再掲】
- 6次産業化の推進〔支援件数：139件〕
- I C Tを活用した環境制御が可能な「あいち型植物工場」の導入（2016年～2024年）【再掲】
- 農地中間管理機構への運営支援（新たに担い手へ集積された面積：958ha）【再掲】
- 循環型林業の推進及び流通コスト削減への取組支援、I C Tを活用したスマート林業の推進【再掲】
- あさり漁場となる干潟・浅場及び増殖場の造成、水産種苗の生産・放流及び栽培漁業の推進、資源管理型漁業の推進、総合的なうなぎ資源保護の取組【再掲】
- 「農起業支援ステーション」、「農起業支援センター」等における、就農希望者・企業の相談や生産技術指導による支援（相談件数：個人1,112件、企業等59件）、農業次世代人材投資資金による支援、女性農業者の活躍支援【再掲】
- ジビエの消費拡大への支援【再掲】

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
三河山間地域及び離島の主要な 産直施設の年間販売金額（年間）	10.2億円 (2021年度調査結果)	15.2億円 (2023年度調査結果)	13.0億円	—

(3) 持続可能で活力あるまちづくり

①集約型まちづくりの推進

- 土地区画整理事業や市街地再開発事業、都市再生整備計画事業の促進
- 市町村の「立地適正化計画」策定支援（新規策定：4市）
- 「市町村まちづくり支援窓口」による技術的支援（100件）
- 歩道、道路照明・標識等の整備、無電柱化・事故危険箇所対策・歩行空間のバリアフリー化の推進
- 名豊道路、西知多道路等の整備促進や名岐道路、浜松湖西豊橋道路等の早期実現に向けた取組推進など都市間道路ネットワークの整備推進
- 市町村が行う空き家対策推進事業への支援（空家等対策推進事業費補助金：239件）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
立地適正化計画新規策定市町村	26市町 (2022年度：5市町)	30市町 (2024年度：4市)	5年間で5市町村	○

②商店街の活性化

- げんき商店街推進事業費補助金制度・商業振興事業費補助金制度による商店街活性化に向けた取組支援
- 商店街と大学、地域住民、NPOなどの地域・商店街を応援する多様な主体との連携を促進するためのマッチング支援
- 空き店舗の物件情報に加え、商店街情報や市町村の支援制度等を併せて発信する「商店街空き店舗情報サイト」の運営

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
活性化を目指す商店街等が実施する取組への支援数（年間）	212件	204件	120件	○
主な商店街のうち、通行量の改善した商店街の割合	87.5%	80.5%	各年度90%	×

③公共交通ネットワークの維持・充実

- 過疎バス路線維持事業による支援（運行：32路線2地域）
- 「あいち交通ビジョン」に基づく取組の推進、バス運行対策事業による支援（23系統）
- 名古屋駅のスーパーターミナル化の推進を図るため、名古屋市が行うわかりやすい乗換空間の形成等に関する検討調査に対する支援等、名古屋駅周辺まちづくり構想に基づく取組の促進【再掲】
- 名鉄三河線の複線化等による豊田市方面への速達化に向けた関係者との協議・調整【再掲】
- 鉄道高架事業（名鉄名古屋本線知立駅周辺の立体交差化）の推進【再掲】

- 移動の利便性向上等を目指し、産・学・行政の連携による新たなモビリティサービスの普及推進のため「MaaS推進会議」を開催

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
地域公共交通網形成計画の策定 市町村数	32 市町村 (2023年3月末現在)	41 市町村	35 市町村	○

④ I C T の利活用による地域活性化

- 「あいちデジタルアイランドプロジェクト」による中部国際空港島及び周辺地域における5G等デジタル技術の活用に向けた取組の推進
- スマートシティモデル事業の実施（7市）
- 学校現場（小・中・高等・特別支援）における情報化の推進
- 県立学校児童生徒用タブレット端末の整備
- 鳥獣被害対策におけるICTの利活用支援
- 行政課題（10件）について解決策を募集し、実証実験を実施
- 市町村のデジタル化・DXの取組に対する財政支援を実施（33件）
- 愛知県図書館の利用カードとしてマイナンバーカードを活用

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
行政課題に対する民間企業等からの解決策のマッチング数（累計）	9 件 (2022年度新規)	27 件 (2024年度：9件)	29 件 〔9件〕	○
スマートシティ化に取り組み始めた市町村数（累計）	4 市町村 (2022年度新規)	8 市町村	9 市町村	×

⑤持続可能なエネルギー社会の構築・地球温暖化対策の推進

- 先進技術の活用によるエネルギー消費の少ない街づくりにおける先進的な取組成果の普及・促進（豊田市つながる社会実証推進協議会等）
- あいちカーボンニュートラル戦略会議の開催、水循環のフィールドにおいて官民連携で総合的かつ分野横断的にCN（カーボンニュートラル）の実現を目指す矢作川・豊川CNプロジェクトの推進
- 再生可能エネルギーの地産地消に向けた取り組み成果の市町村等へ情報発信、自家消費型の再生可能エネルギー設備を導入する事業者に対し、導入経費の一部を補助（2024年度：49件）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
低炭素水素認定プロジェクト件数（累計）	6 件 (2022年度：0件)	9 件 (2024年度：1件)	15 件 〔9件〕	○

⑥生物多様性保全に向けた取組の推進

- 「あいち生物多様性戦略 2030」の推進、あいち生物多様性保全担い手養成講座実施（6回）
- ユース（学生等）を核とした協働による生物多様性保全を推進する「生物多様性あいち学生プロジェクト」の実施（保全活動：22回、情報発信：冊子の作成 1,000部）
- 開発などにおける自然への影響を回避・最小化・代償し、土地利用の転換と生物多様性を両立させる「あいちミティゲーション」の推進、NPO等と企業とのマッチング（2件）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定期 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
生態系創造活動の担い手として育成したユース（生物多様性あいち学生プロジェクトの各種事業に参加したユース）の人数（累計）	192 人 (2022年度：36人)	241 人 (2024年度：22人)	371 人 〔262人〕	×

⑦循環型社会の形成に向けた取組の推進

- 事業者、有識者等とプロジェクトチームを立ち上げ、サーキュラーエコノミー推進モデルの具体化に向け検討
- 食品ロス削減イベントの開催（参加者：約3,200人）
- 単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換に対する浄化槽設置費補助（717基）

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定期 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
循環ビジネス等の事業化数（累計）	99 件 (2022年度：9件)	127 件 (2024年度：14件)	2022年度から2031年度まで60件 〔111件〕	○

⑧持続可能な地域づくりを支える担い手の育成

- AELネット（愛知県環境学習施設等連絡協議会）環境学習スタンプラリーの開催（参加者：39,165人）
- 「あいち環境学習プラザ」や「もりの学舎」などで環境学習の実施
- 未就学児童を対象とした自然体感プログラムの実施及び指導者の育成
- 高校生が地域の環境問題について調査・研究し、環境学習教材を作成する「高校生環境学習推進事業」の実施（あいちの未来クリエイト部）
- 環境面における企業の先進的な取組について研究し、成果を発信する、学生向けの「人づくり」プログラムの実施（かがやけ☆あいちサスティナ研究所）
- 持続可能な社会づくりに向けた人材を育成する「あいち環境塾」の実施
- ユネスコスクール交流会の開催
- ESD活動・研修の促進、SDGs AICHI EXPO の開催
- エシカル消費ポータルサイトによる情報発信、「あいちエシカルパーク」の開催

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
SDGsに関する先進・優良取組等データベースにおける登録団体数	57 件	—	150 件	—
SDGs AICHI EXPOに出展する企業・団体数	120 団体	127 団体	147 企業・団体 [132 企業・団体]	△
「愛知県SDGs登録制度」登録企業等数(年間)	564 者	266 者	250 者	○

⑨地産地消の推進や都市と農山漁村との交流等を通じた活力ある地域づくり

- 「いいともあいち運動」ネットワーク会員や推進店の登録数の拡大(2024年度末:会員数1,814会員、推進店1,283店舗)
- 花き消費拡大に向けたフラワーバレンタインプロモーションの実施
- グリーンツーリズム・ベイツーリズムのモデルルートの開発・情報発信
- 「木材利用の促進に関する基本計画」の推進、「あいち認証材」の普及・啓発、県産木材を利用したPR効果の高い建築物等への支援
- 県内の全ての公立小中学校等における「愛知を食べる学校給食の日」の実施(年3回)【再掲】
- 道徳教育において、地域ゆかりの偉人をまとめた副読本や地域に根付く伝統・文化、地域でのボランティア活動などを取り上げた教材を活用

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
6次産業化事業体数の割合【再掲】	5.5%	6.8%	6.0% [5.0%]	○
三河山間地域における中高連携を通じた交流事業数(年間)	3 件	3 件	増加	△

⑩公共施設等の適切な維持・管理等

- 愛知県公共施設等総合管理計画の推進、県有施設利活用最適化推進会議の開催、施設類型ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の推進及び適宜見直し
- 有料道路コンセッションによる運営、豊川浄化センター汚泥処理施設等整備・運営事業の推進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
県有施設の老朽化に起因する重大事故	0 件	0 件	0 件を継続	○

(4) 地域間連携・広域連携の促進

- 事務の共同処理や公共施設の相互利用などの連携の可能性に関する調査・検討
- 東三河ビジョン協議会の開催、「東三河振興ビジョン」の推進
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議等への参画を通じた取組推進

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
東三河振興ビジョン 2030 に基づく重点プロジェクトの実施件数	1 件	2 件 (2024 年度 : 2 件)	3 件 〔2 件〕	○

(5) 地域の自主性・主体性の發揮

①地方分権改革の推進

- 国から地方への事務・権限移譲や義務付け・枠付けの見直し等について国へ要請
- 地方分権セミナーの開催 (参加者 : 142 人)

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
国から地方への事務・権限の移譲や義務付け・枠付けの見直し等の提案	10 件 (2022 年度 : 3 件)	19 件 (2024 年度 : 6 件)	5 年間で 10 件の実現 〔11 件〕	○

②地方税財源の充実強化

- 社会保障関係費の一層の増加を踏まえ、地方一般財源総額の確実な充実を図るとともに、地方交付税総額を増額し、臨時財政対策債を抑制して、廃止するよう国に對して要請
- ふるさと納税について、更なる見直しを行うよう国に對して要請
- 地方税体系に関する検討に際しては、丁寧に議論を積み重ねるとともに、地方税全体を充実させ、地方の役割に見合った税財源を確保するよう国に對して要請

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
地方税財源の充実強化を実現するための国への要請	2 回	2 回	毎年度 2 回以上	○

③国家戦略特区の取組の推進

- 国家戦略特別区域計画に位置付けられた取組の実施
- さらなる具体的な取組を区域計画に位置付け (保育及び外国人材分野の国家戦略特別区域計画、課税の特例及び支援利子補給金の国家戦略特別区域計画、支援利子補給金の国家戦略特別区域計画の内閣総理大臣による認定)
- 特区制度を活用したさらなる具体的な取組に向けた調査・検討

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
国家戦略特別区域計画に位置づけられた事業数	4 事業 (2022 年度 : 1 事業)	10 事業 (2024 年度 : 5 事業)	5 年間で 15 事業以上 [10 事業]	○

④市町村における取組の推進

- 市町村等が行う先進的な新規事業及び本総合戦略を踏まえて市町村が実施する自
主的・主体的な取組に対する財政的支援

県全体の活性化を促進するため、経済・社会に密接に関係する様々な分野において、デジタルの力を活用して社会課題の解決や魅力向上を図り、どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会をつくる。

〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
デジタル人材育成研修受講者数 (累計)	1,599 人	8,383 人 (2024 年度 : 2,114 人)	7,600 人 [4,560 人]	○
授業中に I C T を活用して指導できる教員の割合	73.5% (2023 年 3 月 1 日時点)	77.4%	100% [87.9%]	×

〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況〕

(1) デジタル実装の基盤整備

①スマートシティ・スーパーシティ化に向けたまちづくり

- スマートシティモデル事業の実施 (7 市町)
- 先端的サービスの実現に向けた基礎調査の実施、ビジネスモデルの検討

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
スマートシティ化に取り組み始めた市町村数 (累計)	7 市町村	8 市町村	9 市町村	×
スーパーシティ構想におけるビジネスモデルの作成数	4 件	15 件 (2024 年度 : 4 件)	11 件 [8 件]	○
自動運転実証実験件数	24 件 (2022 年度 : 10 件)	50 件 (2024 年度 : 23 件)	5 年間で 40 件 [16 件]	○
「自動運転」の分野での社会実装件数 (累計)	1 件	2 件 (2024 年度 : 0 件)	3 件 [0 件]	○

②中山間における「デジ活」の振興

- 風景・自然、農林水産物、加工品、伝統文化など都市農村交流に関係する地域資源データを、あいのちの都市・農村交流ガイドに掲載し、農林水産物の P R を実施する。

③産学官協創都市の形成に向けた取組の推進

- スタートアップ支援拠点「STATION Ai」の運営開始 (2024 年 10 月) 【再掲】
- 県内スタートアップ創出のための起業支援金支給 (18 件) 【再掲】
- 首都圏等スタートアップと愛知県企業の連携促進 (商談数 : 17 件) 【再掲】

重要業績評価指標 (KPI)	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022 年 (度))	現状値 (2024 年 (度))	目標値 (2027 年 (度))	達成状況
ベンチャーキャピタルや金融機関等による投資・融資、事業会社との取引・提携開始件数	13 件	5 件	30 件 [5 件]	○
超短期型アントレプレナー創出プログラムの参加者数	31 人	—	90 人	—
拠点施設における支援対象のスタートアップ数	(2024 年 10 月開始)	500 者	300 者 [100 者]	○
スタートアップの起業数	(2024 年 10 月開始)	38 社	60 社 [20 社]	○
100 億円以上の売上規模のスタートアップ創出	(2024 年 10 月開始)	0 社	3 社 [1 社]	×
スタートアップと愛知県企業とのオープンイノベーションによる事業共創件数 (累計)	22 件	17 件	10 件 [5 件]	○
サービスロボット実用化支援・相談対応件数 (年間)	94 件	123 件	150 件	△
「介護・リハビリ支援ロボット」「サービスロボット」の各分野での導入件数 (累計)	6 件	8 件 (2024 年度 : 3 件)	20 件 [8 件 2024 年度 : 4 件]	△
競技参加校のロボット S1er 企業への就職人数 (年間)	31 人	42 人	14 人	○
オンライン商談での商談成約率	11.8%	0.8%	10.0% [4.0%]	×
データを活用した農業技術の習得者数	341 人 (2022 年度 : 97 人)	542 人 (2024 年度 : 104 人)	5 年間で 400 人	○
新技術を活用したビジネスモデルの創出件数 (累計)	0 件	6 件	14 件 [6 件]	○

④ S D G s 未来都市計画の推進

- 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催【再掲】
- I C T や A I 等を活用した農業生産技術の開発、スマート農業技術の実証推進【再掲】

⑤ 地域交通のリ・デザイン

- 交通事業者等が実運用で再現可能なビジネスモデルの構築を目指し、県内 2 市において実証実験を実施するほか、名古屋市内において自動運転車両による定期運行を開始【再掲】

(2) デジタル人材の育成・確保

①地方創生スタートアップの創出

- スタートアップ支援拠点「STATION Ai」運営開始（2024年10月）【再掲】
- 県内スタートアップ創出のための起業支援金支給（18件）【再掲】
- 首都圏等スタートアップと愛知県企業の連携促進（商談数：17）【再掲】
- テキサス大学オースティン校始め、海外の大学・スタートアップ支援機関との連携【再掲】
- 「創業プラザあいち」における創業準備スペースの貸出、創業コーディネーターの配置などにより創業準備を支援【再掲】

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
起業支援事業を通じた起業者数 (年間)	21件	18件	20件	△
「デジタル人材育成支援事業」における研修の受講者数（累計）	1,480人	7,617人 (2024年度：1,554人)	6,800人 [4,080人]	○
デジタル人材育成研修会の参加人数	119人	766人 (2024年度：560人)	800人 [480人]	○
プロフェッショナル人材戦略拠点事業の成約件数のうちデジタル人材活用に関する成約件数（年間）	—	16件	15件 [10件]	○
プロフェッショナル人材戦略拠点事業の相談件数のうちデジタル人材活用に関する相談件数（年間）	—	200件	105件 [70件]	○

②地方創生テレワークの強化

- 企業担当者や就業者向けテレワーク関連セミナーの開催（8回）【再掲】
- テレワークに関する相談、機械操作体験、情報提供等をワンストップで実施するサポートセンターの設置（相談件数2,029件）【再掲】

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略 2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
テレワーク導入に関するアドバイザー派遣件数	136回	127回	135回 [120回]	○
テレワーク導入事例の紹介件数 (年間)	10件	10件	10件	○

③地方公共団体間の連携による子ども政策の充実

- 結婚支援や子育てに温かい社会づくりに関する事業を実施する市町村に対する助成【再掲】

④教育DXの推進

- 県立学校での校務支援システムの運用
- 県立学校へのICT支援員の派遣（合計訪問回数549回）
- GIGAスクール運営支援センターの運用
- 「愛知エースネット」更改及び運用

（3）「誰一人取り残さない」デジタル化の推進

①デジタル格差対策の推進

- 高齢者デジタルサポートの育成登録、市町村の要請により高齢者向けのスマホ講座に派遣（新規21名、合計66名）（13市町98件派遣）

②医療・介護分野を始めとするサービスロボットの利活用促進

- 「あいちサービスロボット実用化支援センター」の運営【再掲】

③多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトなまちづくりの実現

- 東三河スタートアップ推進協議会と共にスタートアップ機運醸成イベントを開催、東三河地域のスタートアップ・エコシステム形成を支援【再掲】
- 行政課題（10件）について解決策を募集し、実証実験を実施【再掲】
- 市町村のデジタル化・DXの取組に対する財政支援を実施（33件）【再掲】
- 愛知県図書館の利用カードとしてマイナンバーカードを活用【再掲】

重要業績評価指標（KPI）	総合戦略2023-2027 策定時 (2022年(度))	現状値 (2024年(度))	目標値 (2027年(度))	達成状況
行政課題に対する民間企業等からの解決策のマッチング数（累計）	9件 (2022年度新規)	27件 (2024年度：9件)	29件 〔9件〕	○

④観光DXの推進

- 市町村等が実施する観光振興施策において、観光動態調査等の分析内容を活用し、EBPMを実践

⑤デジタル技術を活用した地域防災力の向上

- 鳥獣被害対策におけるICTの利活用支援【再掲】

⑥ドローン等のICT機器の利活用の促進

- 「無人飛行ロボット（ドローン）」の社会実装に向けた研究開発、実証実験の実施